

第76期 年次報告書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日



イサム 塗料株式会社

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第76期の事業の概況につきまして、次のとおりご報告申し上げます。



取締役社長

北村 倍章

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大やそれに伴う政府や各地方自治体の要請等に企業としての対応が必要とされる厳しい状況にあり、感染症対策と経済活動の両立を目指す中、企業収益は依然厳しさは残りつつも、一部には改善の動きがみられます。個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は依然として弱い動きとなる中で、雇用者数等の動きに底堅さもみられます。一方で世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられます。わが国においては、3回目のコロナワクチン接種、治療薬の普及、医療体制の充実により景気が持ち直していくことが期待されつつも、新型コロナウイルス感染症再拡大やウクライナ情勢による原油価格をはじめとするエネルギー価格の動向、企業物価指数や消費者物価指数の上昇など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは一定の需要に応えるべく事業活動を継続し、自動車補修用市場でのシェアの

拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注拡大に向け、営業活動を展開いたしました。また、原材料価格や物流コスト上昇分を吸収すべく、あらゆるコスト削減に注力しながら一部を販売価格に転嫁し、収益向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、70億69百万円（前年同期比1.3%減少）となりました。利益面につきましては、製品の統廃合や総原価低減に取り組んだものの、原材料価格や物流コスト等の上昇により、営業利益は4億87百万円（前年同期比7.6%減少）、経常利益は5億89百万円（前年同期比16.0%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億1百万円（前年同期比21.2%減少）となりました。

分野別の販売状況は、自動車補修用塗料分野では、環境対応型製品として、主力の低VOCベースコート「アクロベース」やハイソリッドクリヤー「アクセルクリヤー」シリーズで市場占有率の向上を図るとともに、環境対応への要請が強

いユーザーを中心に特化則対応でPRTR法届出対象外の1液ベースコート「ハイアートNext」で新規ユーザーの獲得に努めました。併せて、水性1液ベースコート塗料「アクアスDRY」では主力ユーザーへの普及促進を行いました。また、大型車両分野では、トラック荷台床面の木部保護塗料「ウッドプロテクト」、高い防錆効果を発揮する「ハイアートCBエコ防錆コート」で新規市場でのユーザー獲得に注力し、堅調に推移いたしました。さらに、調色作業を標準化・システム化した測色機「彩選短スマート」の販売を促進し、ユーザーの作業効率改善や若年者の技術教育に大きく貢献いたしました。

建築用塗料分野におきましては、主力の「ネオシリカ」シリーズに加え、JISA6021取得の外壁用塗膜防水材料「アロンエラストマー」、抗ウイルス性、抗菌性、抗カビ性、消臭性に優れた内装用光触媒塗料「エアフレッシュ」など、各種用途に特化した製品を展開いたしました。また、タイル床面等滑り止めの「スキッドガードシリーズ」では、高耐久性を実現した無溶剤2液型ウレタン樹脂塗料「スキッドガードTOUGH」、水性1液型アクリルシリコン樹脂塗料「スキッドガードAQUA」の販売促進に取り組みました。

工業用塗料につきましては、ユーザーの環境重視志向を背景に「ハイアートCBエコ」の拡販に注力するとともに、従来の水性塗料と比較して乾燥性・光沢を大幅に向上させた水性1液型アクリル樹脂塗料「アクアシャインGA」において、引き続き個々のユーザーに対応して積極的な個別営業活動に取り組みました。

エアゾール分野におきましても、工業用向けでは、補修用スプレー「エアラッカーエコ」の売上が堅調であったほか、DIY分野では、2液内部混合型エアースプレー「エアウレタン」、1液カラークリヤー「キャンディーカラー」が堅調に推移しました。

今後の経済の見通しにつきましては、ウクライナ情勢等の影響による原油価格をはじめとするエネルギー価格の動向、新型コロナウイルス感染症の収束時期や感染拡大による影響が見通せず、先行きは極めて不透明な状況であります。

当社グループを取り巻く状況も予断を許しませんが、引き続き、原材料価格や物流コスト上昇に対処すべく、生産効率化、業務効率化に注力し、一定部分を販売価格に転嫁しつつ、商品を安定供給することで収益確保に繋げてまいります。また、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立を進める中、ワクチンや治療薬の普及効果があらわれ、人の往来が回復するにつれて当社グループの収益環境も徐々に回復してくるものと考えておりますが、塗料業界におきましては、引き続き企業間競争が激しくなることが予想されます。このような状況の中、当社グループは、「お客様に一番近いメーカーであり続けよう」という経営ビジョンを掲げ、全社員一丸となって業績の向上に邁進いたします。

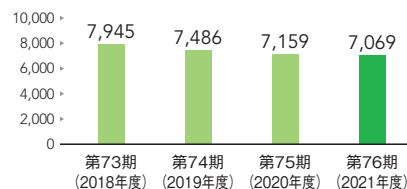
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

業績ハイライト

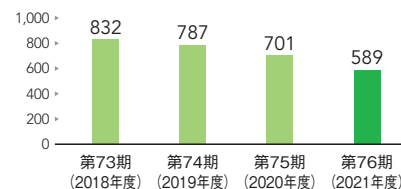
売上高

(単位:百万円)



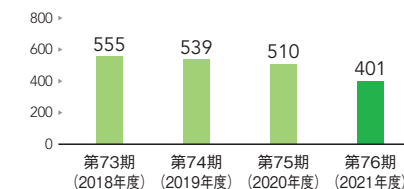
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2022年3月31日現在	2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	10,376,532	10,257,183
固定資産	8,766,603	8,683,834
有形固定資産	2,720,962	2,671,476
無形固定資産	33,239	36,701
投資その他の資産	6,012,402	5,975,657
資産合計	19,143,135	18,941,017
負債の部		
流動負債	2,026,371	2,118,302
固定負債	1,005,369	992,248
負債合計	3,031,740	3,110,550
純資産の部		
株主資本	15,481,579	15,153,909
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	13,159,651	13,635,586
自己株式	△ 178,602	△ 982,207
その他の包括利益累計額	242,549	280,221
その他有価証券評価差額金	242,549	280,221
非支配株主持分	387,267	396,337
純資産合計	16,111,395	15,830,467
負債純資産合計	19,143,135	18,941,017

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで	2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで
売上高	7,068,872	7,158,525
売上原価	4,930,584	4,962,883
売上総利益	2,138,288	2,195,642
販売費及び一般管理費	1,651,292	1,668,570
営業利益	486,996	527,072
営業外収益	111,848	180,835
営業外費用	9,616	6,695
経常利益	589,228	701,212
特別利益	—	45,915
特別損失	4,455	5,955
税金等調整前当期純利益	584,773	741,172
法人税、住民税及び事業税	190,687	226,073
法人税等調整額	△ 22,791	△ 9,253
法人税等合計	167,896	216,820
当期純利益	416,877	524,352
非支配株主に帰属する当期純利益	15,419	14,850
親会社株主に帰属する当期純利益	401,458	509,502

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで	2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	510,751	680,745
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 254,507	△ 25,921
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 106,903	△ 107,491
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	149,341	547,333
現金及び現金同等物の 期首残高	3,183,271	2,635,938
現金及び現金同等物の 期末残高	3,332,612	3,183,271

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2022年3月31日現在	2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,517,238	8,547,209
固定資産	8,103,796	7,950,444
有形固定資産	2,063,873	2,005,063
無形固定資産	32,359	35,832
投資その他の資産	6,007,564	5,909,549
資産合計	16,621,034	16,497,653
負債の部		
流動負債	2,032,233	2,145,038
固定負債	810,472	785,052
負債合計	2,842,705	2,930,090
純資産の部		
株主資本	13,618,812	13,412,682
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	11,297,089	11,851,840
自己株式	△ 178,602	△ 939,483
評価・換算差額等	159,517	154,881
その他有価証券評価差額金	159,517	154,881
純資産合計	13,778,329	13,567,563
負債純資産合計	16,621,034	16,497,653

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで	2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで
売上高	6,622,820	6,557,555
売上原価	4,834,797	4,699,292
売上総利益	1,788,023	1,858,263
販売費及び一般管理費	1,498,033	1,522,118
営業利益	289,990	336,145
営業外収益	130,759	200,753
営業外費用	9,075	6,532
経常利益	411,674	530,366
特別利益	—	45,915
特別損失	4,455	5,955
税引前当期純利益	407,219	570,326
法人税、住民税及び事業税	125,338	163,450
法人税等調整額	△ 20,082	△ 7,139
法人税等合計	105,256	156,311
当期純利益	301,963	414,015

新しい自動車補修システムの販売強化

世界的にSDGsの取り組みが加速する中で、自動車補修業界においてもサステナブルな商品が求められています。また、作業者の健康と安全を守る法令が年々強化されており、「作業環境の改善」と「作業効率向上」が求められています。

このような状況の中、当社では2000年の開発着手から「信頼と実績」を積み重ねた水性ベースコート「AXUZ DRY」を軸に、水性補修シリーズ「ピュアWSプラサフ」、「ピュアWSクリヤー」を加えた水性システムを「ISAMU WATER STYLE」として確立。さらに有機則に該当しない光硬化型パテ「ライトアップPlus」を含めた「イサム有機則フリーシステム」を販売強化し自動車補修業界の課題解決に努めてまいります。



ジャパントラックショー2022への出展～大型車両市場への開拓強化～

2022年5月12日（木）～14日（土）にわたりパシフィコ横浜にて開催された大型車両分野における最大級の展示会「ジャパントラックショー2022」へ出展し、当社の大型車両用塗料をPRいたしました。キャビンには多彩なカラーバリエーションと作業効率・高品質な仕上がりを実現する「ハイアートCBエコ」、荷台木部には紫外線や雨から木部の劣化を防ぐ「ウッドプロテクト」、車両下回りには錆の発生や進行を抑制し、車両を長持ちさせる「ハイアートCBエコ防錆コート」を塗装した実車を展示し、大型車両の塗装をトータル提案いたしました。非常に多くの反響をいただいた展示内容となり、さらなる大型車両市場の開拓に注力してまいります。



会社の概要

(2022年3月31日現在)

社名	イサム塗料株式会社
英文社名	Isamu Paint Co., Ltd.
設立年月	1947年7月
資本金	12億9,040万円
従業員数	190名
事業内容	塗料、塗装用機械器具の製造販売および 塗装工事請負
本社	〒553-0002 大阪市福島区鷺洲二丁目15番24号 電話 06-6458-0036
事業所	滋賀工場 営業企画部 東京支店 大阪支店 名古屋支店 福岡支店 仙台出張所 札幌駐在所 広島駐在所
連結子会社	イサムエアーゾール工業株式会社 明勇色彩株式会社 イサム土地建物株式会社 進勇商事株式会社

役員状況

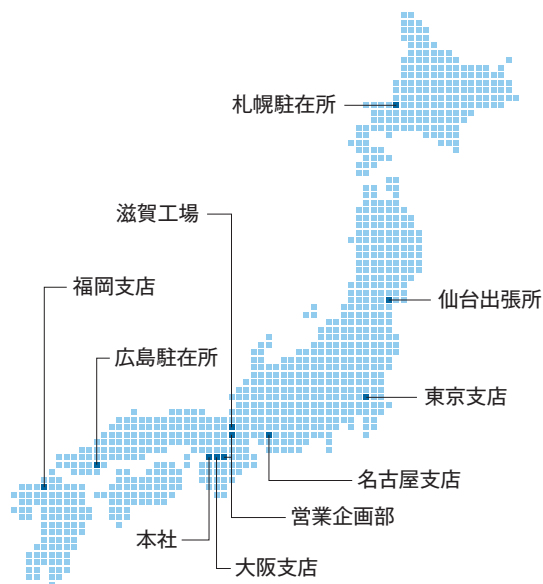
(2022年6月29日現在)

取締役社長	北村 倍章
取締役	角井 和夫
取締役	深田 修也
取締役	山崎 昌之
取締役(常勤監査等委員)	横江 喜夫
社外取締役(監査等委員)	澤田 直樹
社外取締役(監査等委員)	櫻元 雄生

会計監査人

清稜監査法人

ネットワーク



■ 詳しいIR情報は、ホームページでご覧いただけます。

<https://www.isamu.co.jp/>



株式の状況

(2022年3月31日現在)

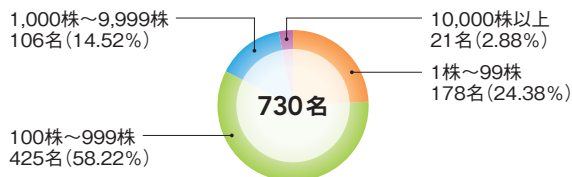
発行可能株式総数	9,600,000株
発行済株式の総数	2,000,000株 (自己株式93,795株を含む。)
株主数	730名
単元株式数	100株

大株主の状況 (上位10名)

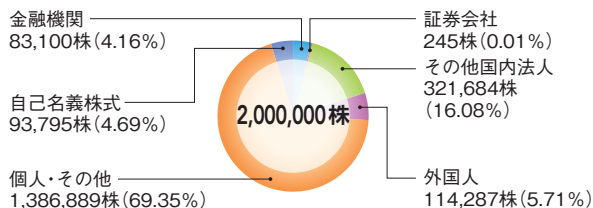
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
北村初美	443	23.25
北村健	442	23.19
イサム塗料栄勇会	244	12.81
光通信株式会社	74	3.89
第一生命保険株式会社	62	3.27
長瀬産業株式会社	33	1.75
石原産業株式会社	24	1.25
イサム塗料従業員持株会	23	1.21
株式会社タイセル	21	1.13
日本証券金融株式会社	20	1.08

(注) 1. 当社は、自己株式を93,795株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有株式数別株主分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 https://www.isamu.co.jp/ir/notification
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 郵便物ご送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
お問い合わせ先	☎0120-094-777 (通話料無料) (受付時間: 土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)
ホームページURL	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

【ご案内】

- 単元未満株式の買増制度について
単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の株主様は、お手元の単元未満株式を1単元(100株)となるよう買増し請求することができます。
また、単元未満株式について買取り請求することもできます。
- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。